

別表第1（第5条関係）

事 務 事 業 評 価 シ ー ト

評価対象年度 平成 20 年度

【事務事業の基本的事項】

事 務 事 業 名	武道館管理運営費				
担 当 課 係 名	生涯学習 課		社会体育 係	作成者	草 薨 正 勝
総 合 計 画 で の 位 置 づ け	施策の大綱	明日を担う人材を育む教育文化のまち			総合計画の ページ
	基本計画	スポーツ活動の推進とスポーツ施設の整備			
	主要施策	スポーツ施設の整備、管理			97
予 算 費 目	一般 会計	10 款 教育費	6 項 保健体育費	2 目 体育施設費	
事 業 期 間	平成 年度 ~ 平成 年度		新規／継続の区分		継続
性 質 区 分	☒ 市民サービス ☐ 公共事業 ☐ 施設維持管理 ☐ 補助金 ☐ 内部管理				
根 拠 法 令 等	仙北市武道館条例・仙北市武道館管理規則				
事 務 区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務				
運 営 方 法	☒ 直 営 ☐ 直営（一部民間委託） ☐ 民間委託(全部) ☐ 補 助				

【事務事業の実施内容】

事業の対象 (誰のため・何を)	市内の住民
事業の目的・意図 (どういう状態にしたいのか)	スポーツを通じた交流の場の提供及び心身の健全な発達に寄与する。
事業の内容 (どのような業務、活動を行うのか)	施設の維持管理修繕及び貸出・利用者調整等をおこなう。

【事務事業の推移】

	項 目			単位	18年度実績	19年度実績	20年度実績
効果	活動指標	2 武道館 利用可能延べ日数	目標	日	718	718	718
			実績	日	718	718	718
			達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%
	成果指標	2 武道館 利用稼働延べ日数	目標	日	718	718	718
			実績	日	518	486	486
			達成度	%	72.1%	67.7%	67.7%
投下コスト	項 目		総事業費		18年度決算額(千円)	19年度決算額(千円)	20年度決算額(千円)
	事業費（人件費を除く）(A)				1,028	1,072	4,167
	人 件 費 (B)		—		2,356	2,421	2,378
		職 員 数	—		0.30	0.30	0.30
		職 員 平 均 人 件 費	—		7,853	8,071	7,925
	(A) + (B) 投下コスト				3,384	3,493	6,545
	財源内訳	国 庫 支 出 金					
		県 支 出 金					
		地 方 債					
		そ の 他			0	0	0
		一 般 財 源			3,384	3,493	6,545
単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)		—		4,713	4,865	9,116
	市民1人当たりのコスト(円)		—		106	111	211

【事務事業の今までの成果】

スポーツによる地域住民の交流の場となっている。
学校のクラブ活動の利用が多い。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	総合体育館等の利用価値の高いものが増え、小規模の古くなったものは少なくなっている。
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	活動しやすい環境の整備が求められる。

【一次評価】

判 定	事 業 の 方 向 性	判 定 に 至 っ た 理 由
A	A 現状のまま継続（実施）	学校のクラブ活動の利用が多いが稼働率も高く必要な事業である。
	B 1 見直しの上で継続（拡大）	
	B 2 見直しの上で継続（手段改善等）	
	B 3 見直しの上で継続（縮小）	
	C 1 大幅な見直しの上で継続（拡大）	
	C 2 大幅な見直しの上で継続（手段改善等）	
	C 3 大幅な見直しの上で継続（縮小）	
	D 休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	
	E 終了（完成及び目的を達成し終了した事業）	

※一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

【二次評価】

判 定	判 定 に 至 っ た 理 由
B 2	施設の一定の利用が確保されており、今後も必要な事業ですが、効率的な管理運営を目指し今後も改善に取り組むべきと考えます。

一次評価診断図

